

# 災害に関する基礎講座③

## 「1時間に50ミリ」ってどんな雨？

局地的大雨が相次ぎ、天気予報などで「1時間に50ミリの非常に激しい雨が降る」など、雨量に関する言葉を耳にする機会が多くなりました。1時間に50ミリの雨とは、実際にどのくらいの雨の量で、どのくらいの強さなのでしょう？



### 解説

**「1時間で50ミリの雨」**  
 は、予報用語では「**非常に激しい雨**」に分類されます。降った雨がそのまま溜まった場合に、**「1時間で雨水が50ミリメートル（5センチ）の高さまでたまる」**ということです。  
 雨が滝のように降り、傘は全く役に立たなくなります。屋外に出ても水しぶきの影響で視界が悪くなるため、自動車の運転は危険です。土砂災害が発生する可能性が高くなり、避難するときにも十分な注意が必要です。

予報用語	1時間雨量	雨の降り方とその様子
やや強い雨	10~20mm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ザーザーと降る</li> <li>・地面からの跳ね返りで足元がぬれる</li> <li>・地面一面に水たまりができる</li> </ul>
強い雨	20~30mm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どしゃ降り</li> <li>・傘をさしてもぬれる</li> <li>・ワイパーを速くしても見づらい</li> </ul>
激しい雨	30~50mm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バケツをひっくり返したように降る</li> <li>・道路が川ようになる</li> <li>・高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる</li> </ul>
非常に激しい雨	50~80mm	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）</li> <li>・傘は全く役に立たなくなる</li> <li>・水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる</li> <li>・車の運転は危険</li> </ul>
猛烈な雨	80mm以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・息苦しくなるような圧迫感がある</li> <li>・恐怖を感じる</li> </ul>

※気象庁資料より抜粋